

## 清流を守る 研究協総会

屋「新大阪間の工事を始めてほしい」と発言したことについては、コロナウイルス感染症対策を踏まえつつ、市民向けの源流部や下流域の視察、環境教育出前講座などの啓発活動に加え、リニア工事に伴う問題を考えるフォーラムや先進事例の調査実施などを検討する。

同協議会は2000年、当時の榛原郡8町の首長、議長が大井川の水量を増やして流域の環境改善を図ることを目的に設立した。(島田支局・中村綾子)

を受け、川勝知事は8月4日に長野県諏訪市で開催を予定していた本県と山梨、長野、新潟各県知事らとの意見交換会を延期すると明らかにした。

一方、4県を行き来する観光振興の取り組みについては「クラスタも発生場所などが特定されているので、注意して行動すれば問題ない」と指摘し、継続する考えを示した。

川勝知事は4県の圏域を「山の洲(くに)」と称し、観光交流と経済活性化に向けた連携強化を呼び掛けている。8月4日には県産品やサービスを互いに

支給し、PCR検査を希望する妊婦に計1億5千万円の支援を実施する。

感染症の収束が見通せない現状を踏まえ、県は基金への寄付の呼び掛けを継続するとしている。



感染者搬送用のシエンタを県に無償貸与したトヨタ自動車東日本の宮内一公社長(右から3人目)ら＝県庁

援として、感染者搬送用車両のシエンタ1台を県に無償貸与した。県は東部保健所で利用

を始めた。

県庁を訪問した宮内一公社長らが、県職員に車両を引き渡した。シエンタは運転席、助手席と後部座席がビニールシートの隔壁で区切られ、運転席側に外気を取り入れ続けることで、後部座席より気圧が高くなるよう改造されている。

県によると、自動車メーカーや県内の販売店を通じて、県の保健所にはこれまでに感染者の搬送用車両11台が無償貸与されている。

夏用マスク1万枚「海山」が県に寄付

清水港や富士山静岡空港で飲食店を展開する有限会社「海山」(本店・山梨県)は28日、新型コロナウイルス感染症対策の支援として、県に夏用の不織布



表彰を受けた後に川勝平太知事(前列中央)と記念撮影する受賞者＝27日、県庁

7個人・団体表彰  
男女共同参画推進  
県は27日、男女共同参画の推進に積極的に



同社の横山和幸社長(右)が県庁を訪ね、藤原学健康福祉部長に目録を手渡し、藤原部長は「支援を必要とする県民のために活用させていたただく」とする川勝平太知事のお礼状を贈った。

横山社長は「事態の収束には官民一体の取り組みが必要。今後も随時支援をしたい」と話した。

県は寄贈されたマスクを保健所などで活用する。

取り組んだ個人や団体を顕彰する知事褒賞の授与式を県庁で行い、養豚業の傍ら女性の視点を生かした直売所やレストラン経営などを手掛ける鈴木充枝さん(70)＝浜松市北区＝ら7個人・団体を表彰した。

明治時代の浜松県公選民会代議人選挙で島田市の女性が7月30日に日本で初めて投票権を行使したことちなみ、県はこの時期に授与式を行っている。鈴木さんは「素晴らしい賞をいただきうれい」とあいさつし、川勝知事は「みなさんは県の誇り。多くの人に知ってほしい」と述べた。

他に表彰を受けた個人・団体は次の通り。  
女性の活躍推進事業所の部 フジヤマ(浜松市中区) ローム(同市南区) 井上玩具煙火(島田市) ペッツ(藤枝市) 美芳会(富士市) ▽チャレンジの部 佐々木直美(伊豆の国市)